

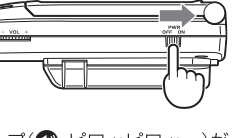


音量を調整する

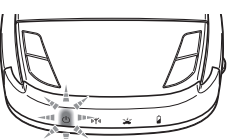
設定は、必ず停車中にパーキングブレーキを確実にかけて行ってください。

1 電源を入れる

電源スイッチをONにします。



ターン・オン・ピープ(④ ピロピロッ…)が鳴り、パイロットランプが点滅します。



・無線を「OFF」以外に設定しているときは、「ピロピロッ」のあとに「ピビピビッ」と鳴ります。

2 音量を調節する

テスト&ミュートボタンを押しながら、音量ツマミを回します。

テスト&ミュートボタンを押している間は警報音を確認することができます。

●テスト&ミュートボタンを押す前から警報機能が働く場合は、近くで発信されている取締りレーダー波と同じ電波を受信しているためです。この状態でボタンを押すと、ミュート機能が働き、警報音が止まります。

ターン・オン・ピープ

電源をONにしたときや、オートパワーON機能により電源が入ったとき、確認音が鳴り、電源が入ったことをお知らせします。

・バッテリーが消耗しているときは、ターン・オン・ピープのあと、しばらくしてからローバッテリーアラームが鳴ります。



受信感度を設定する

設定は、必ず停車中にパーキングブレーキを確実にかけて行ってください。

受信感度を選ぶ

受信感度ボタンを押して切り替えます。

ボタンを押すたびに感度ランプの色が変わります。



●受信感度の切り替え

受信感度		走行環境や条件
高い ↑ 低	エクストラ感度	郊外や高速道路
	シティ感度	市街地



iDSPについて

本機はiDSP/統合的デジタル信号処理技術 (Integrated Digital Signal Processing Technology) により、ステルス型取締り機の「一瞬で強い電波」に対しては、ただ単に警報するだけでなく、通常の警報音とは違うアラームでお知らせします。【ステルス識別】

- iDSPはステルス型の取締り機に対して完全対応という訳ではありません。先頭を走行する際はくれぐれもご注意ください。
- 新Hシステムの断続的なレーダー波を受信した際も、通常のレーダー波と同じ警報となります。

ステルス型取締り機について

他の取締り機と同じ電波を使用していますが、事前に探知(受信)されないようにするため、待機中は電波を放射せず、必要なときに短時間強い電波を放射して速度の測定ができる狙い撃ち方式の取締り機です。

・ステルス型取締り機は、計測する瞬間だけ電波を放射するため、受信できなかったり、警報が間に合わない場合があります。また、取締りにはレーダー波を使用しない光電管式などもありますので、先頭を走行する際はくれぐれもご注意ください。

・通常のレーダー波を受信した場合でも、周囲の状況などにより、「ピロピロピロ…」とアラームでお知らせすることがあります。

＜ステルス波を受信したとき＞

●専用のアラームでお知らせします。



受信

「ピロピロピロ…」

5秒以上受信が続くと、通常の警報音に変わって警報します。





レーダー波受信時の動作について (レーダーアラーム)

本機は、Wアラームと接近テンポアップシステムの採用により、取締りレーダー波の存在をより確実に伝えていきます。【レーダーアラーム】

Wアラーム

音(電子音)と光(アラームランプ)のダブルで警報します。

接近テンポアップシステム

取締りレーダー波発信源への接近(電波の強弱)にあわせて変化します。

取締りレーダー波発信源との距離	 遠い → 近い
電子音アラーム	断続音から連続音に変化します。
アラームランプ	点滅速度が変化します。

オートクワイアット/ディーマー機能

レーダー波の受信が約30秒以上続くと、自動的に音量が小さくなり、アラームランプなどのランプも暗くなります。

後方受信

iDSPによる超高精度識別およびエクストラ感度の高感度受信により、後方からの取締りレーダー波もしっかり受信します。

ミュート機能

●取締りレーダー波の発信元の確認ができたら

警報中にテスト&ミュートボタンを押すと、受信中の電波がなくなるまで、警報音を一時的に消すことができます。

16

BAND

16バンド受信機能について

取締りレーダー波のX・Kツインバンドに、無線14バンド受信をプラスし、16バンド受信ができます。

Xバンド/Kバンド + 無線14バンド = 16 BAND

1. 無線14バンド受信機能について

安心して、安全に運転していただくために、無線14バンド受信機能を搭載しました。これらの無線を受信すると、電子音で警報します。【無線14バンド警報】

なお、これらの無線14バンドは個別にON/OFFの設定ができます。



無線OFF ➡ 標準モード ➡ マルチバンドモード

無線14バンド受信の設定															
	① 取締無線	② カーロケ無線	③ デジタル無線	④ 特小無線	⑤ ヘリテレ無線	⑥ 署活系無線	⑦ レッカー無線	⑧ 消防無線	⑨ 消防ヘリテレ無線	⑩ 新救急無線	⑪ 高速道路無線	⑫ 警備無線	⑬ 警察電話	⑭ 警察活動無線	
●無線OFF すべての無線を受信しません。	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
●標準モード 「取締無線」と「カーロケ無線」のみ受信します。 ・2バンド固定で個別の設定はできません。	●	●	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
●マルチバンドモード ・ニッケル水素電池だけで使用時…①～⑤の5バンドの設定が「ON」になっています。 ・シガープラグコード接続時…すべての無線設定が「ON」になっています。	○	○	○	○	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

●：ON固定 ○：ON/OFF選択可能

各種無線を個別にON/OFF設定する

- テスト&ミュートボタンを押しながら、バンドボタンを押す
 『ブピブピッ』という音がし、バンド選択になります。
 - 「取締無線」の項目になります。

＜バンド選択について＞

 - バンド選択中は、レーダーおよび無線の警報はしません。
 - バンド選択中は、選択しているバンドを、感度ランプと無線ランプで表示します。
 - バンド選択中に、テスト&ミュートボタンまたは受信感度ボタンが押されない状態が約10秒間続くと、バンド選択は解除されます。
- テスト&ミュートボタンを押す
 テスト&ミュートボタンを押すたびにON(ブピッ)/OFF(ビブッ)が切り替ります。
- 受信感度ボタンを押す
 次のバンド②「カーロケ無線」に切り替ります。
- 「2.」と「3.」の操作を繰り返す

無線14バンド	バンド選択表示	
	🔊 感度ランプ	💡 無線ランプ
① 取締無線	緑点灯	
② カーロケ無線	赤点灯	
③ デジタル無線	オレンジ点灯	
④ 特小無線	緑点滅	
⑤ ヘリテレ無線	赤点滅	
⑥ 署活系無線	オレンジ点滅	
⑦ レッカー無線	緑点灯	
⑧ 消防無線	赤点灯	
⑨ 消防ヘリテレ無線	オレンジ点灯	
⑩ 新救急無線	緑点滅	
⑪ 高速道路無線	赤点滅	
⑫ 警備無線	オレンジ点滅	
⑬ 警察電話	緑点灯	
⑭ 警察活動無線	赤点灯	

・①→⑭の順番で個別に設定できます。

＜各種無線を受信すると＞		
	警報音	💡 無線ランプ
① 取締無線	「ピビビビッ」	
② カーロケ無線	「ビビビビッ」…②と④の識別はできません。	
③ デジタル無線	「ビビビビッ」	
④ 特小無線	「ビビビビッ」…②と④の識別はできません。	
⑤ ヘリテレ無線		
⑥ 署活系無線		
⑦ レッカー無線		
⑧ 消防無線		
⑨ 消防ヘリテレ無線		
⑩ 新救急無線	「ビビビビッ」…③および⑤～⑭の識別はできません。	
⑪ 高速道路無線		
⑫ 警備無線		
⑬ 警察電話		
⑭ 警察活動無線		

・それぞれの受信の内容は聞くことができます

無線設定の詳細説明

①〈取締無線〉

スピード違反の取締りや、シートベルト着用義務違反の取締り現場で、連絡用として使用する無線(350.1MHz)のことです。

- 取締り現場での連絡方法には350.1MHzの電波を用いた無線の他に、有線方式などもあり、受信自体ができない場合もあります。

②〈カーロケ無線〉

「無線自動車動態表示システム」のことで、通信指令本部が移動局(パトカー等)の現在位置をリアルタイムで地図画面上に表示し、把握するシステムです。

カーロケーターシステムを搭載した移動局は、GPSによる緯度・経度情報をデジタル化し、407.7MHz帯の周波数でデータ伝送していますので、その電波受信により、移動局(パトカー等)が近くにいる可能性が高いことを察知できます。

- カーロケーターシステムは、全国的に新システムへの移行が進んでいます。現在は受信できる地域であっても、今後新システムへの移行により、受信できなくなる場合がありますので、あらかじめご了承ください。新システムが導入された地域では、カーロケ無線の警報ができません。
- カーロケーターシステム搭載車であっても、使用されていない場合がありますので、カーロケ無線を受信できないことがあります。

③〈デジタル無線〉

各都道府県警察本部と移動端末間で交信するためのもので、移動端末から各都道府県警察本部へ送信する際に、159～160MHz帯の周波数が使われていますので、その電波受信により、移動局(パトカー等)が近くにいる可能性が高いことを察知できます。

カーロケ無線の電波受信を受信したときと同じように、事前に察知することにより、緊急車両の通行の妨げにならないようにするなど、安全走行に役立ちます。

④〈特小無線〉

スピード違反の取締りや、シートベルト着用義務違反の取締り現場では、350.1MHzの電波を用いたアナログ方式の無線で連絡が行われることが一般的ですが、特定小電力無線が用いられる場合があります。

- 取締り現場の連絡用として使われていない場合もありますので、ご了承ください。

⑤〈ヘリテレ無線〉

「ヘリコプター画像伝送システム連絡用無線」の略称で、ヘリコプターを使って事件や事故処理、または取締りを行うときなどに地上との連絡用として使われる無線のことです。

- 一部地域や一部ヘリコプターで、ヘリテレ無線が装備されていない場合や使用されていない場合は受信できないことがあります。

⑥〈署活系無線〉

パトロール中の警察官が警察本部や他の警察官との連絡用として使われる無線のことです。

⑦〈レッカー無線〉

主に関東・東海/飯神の一部地域で、レッカー業者が駐車違反や事故処理のときに、連絡用として使用する無線(簡易業務用無線)のことです。そのため他の簡易業務用無線を受信しても、レッカー無線警報をすることがありますので、あらかじめご了承ください。

⑧〈消防無線〉

災害・救助活動で使用する消防用署活系無線(携帯用400MHz帯)のことです。

- 消防本部等で広域に使用されているVHF帯(150MHz帯)の通信(消防無線)は受信できませんので、ご了承ください。

⑨〈消防ヘリテレ無線〉

ヘリコプターを使った火事の事故処理、または火事現場との連絡用として使われる無線のことです。

- 一部地域や一部ヘリコプターで、消防ヘリテレ無線が装備されていない場合や使用されていない場合は受信できないことがあります。

⑩〈新救急無線〉

救急車と消防本部の連絡用として使われる無線のうち、首都圏の特定の地域で使われている無線のことです。あらかじめ受信察知することにより、救急車の通行の妨げにならないようにするためのものです。

⑪〈高速道路無線〉

NEXCO東日本、NEXCO中国本、NEXCO西日本の業務連絡用無線のことです。

主に渋滞や工事・事故情報などでパトロール車輛と本部との連絡に使用されています。

⑫〈警備無線〉

主に警備会社が使用する無線のことです。

⑬〈警察電話〉

移動警察電話(移動警電)ともいい、警察専用の自動車携帯電話システムのことです。

⑭〈警察活動無線〉

主に機動隊の連絡用無線で、行事などの警備用として、限られた範囲で使用されている無線のことです。

2. ベストパートナー2識別

カーロケ無線(407.7MHz帯の電波)を受信したとき、その発信元の遠近を自動識別し、さらに発信元が圏外になったときと思われる場合もお知らせします。【圏外通知】[特許 第3780262号]

識別項目		警報音
①カーロケ遠近	【カーロケ遠方受信】 発信元が遠方と思われるとき	🔊 ビビビビッ…(低い電子音)
	【カーロケ近接受信】 発信元が近接している可能性が高いとき	🔊 ビビビビッ…(高い電子音)
②カーロケ圏外	カーロケ近接受信後、発信元が遠ざかった可能性が高いとき	🔊 ビビビビッ ビービッ

※カーロケ無線が受信可能な一部の地域でのみ働きます。
※警報によるアドバイスはあくまでも、実際とは異なる場合がありますので、目安としてお考えください。

取締りのミニ知識

スピード違反の取締り方法

大きく分けて3つの方法があります。

- レーダー波を使って算出する方法(レーダー方式)
 取締りレーダー波を対象の車に向けて発射し、その反射波の周波数変化(ドップラー効果)で速度を算出します。



・現在、スピード違反の取締りには、この方法が多く採用されています。
- 距離と時間で算出する方法(ループコイル・LHシステム・光電管式)
 一定区間を通過するのにかかる時間から速度を算出します。
 測定区間の始めと終わりに設置するセンサーには、赤外線や磁気スイッチなどが使われています。
 - この方式は取締りレーダー波を発射しておりませんので、本機で検知することはできません。
- 追走して測定する方法(追尾方式)
 指針を固定できるスピードメーターを搭載している白バイやパトカーで、対象の車を追走して速度を測ります。
 - 本機は取締りレーダー波を発射しているものについては後方受信します。

取締りレーダー波について

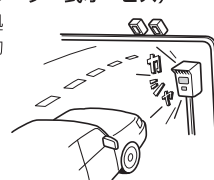
取締りレーダー波は、発射するときの角度や装置の種類によって性質が異なります。

●**定置式**
人が測定装置を道路脇に設置して行います。取締りレーダー波は、直進性が強いため、発射角度が浅いほど、探知しやすくなります。



発射角度

●**自動速度取締り機(新Hシステム、レーダー式オービス)**
速度の測定と証拠写真の撮影を自動的に行います。



●**移動式**
測定装置をパトカーに搭載して、移動しながら測定を行います。

取締りレーダー波を受信しにくい場合

取締りレーダー波の発射方法や周囲の環境、条件などにより、取締りレーダー波を受信しにくいことがあります。

- 前に走行している車(とくに大型車)がある場合や、コーナー、坂道では、電波が遮断され、探知距離が短くなります。スピードの出やすい下り坂では、とくにご注意ください。
- 対象の車が近くに来るまで、取締りレーダー波を発射しない狙い撃ち的な取締りができるステルス型のスピード測定装置があります。



「前に走行中の車がある場合」 「コーナー」 「下り坂」

電波式の自動ドアや、信号機の近くに設置されている車輻通過計測機などは、取締りレーダー波と同じ電波を使用しているため、反応するのは避けられません。【いつも鳴るから】と安心せずに注意してください。

故障かな？と思ったら

修理をご依頼になる前に、もう1度次のことをご確認ください。
それでも異常や故障と思われるときは、お買い上げの販売店、またはユビテルにご相談窓口にご相談ください。

症 状	チェック項目
電源が入らない	- バッテリーが消耗していませんか。シガープラグコードを使って充電してください。 - オートパワーOFF機能が働いていませんか。停車や駐車の状態が約3分以上続くと、自動的に電源が切れます。
充電できない	- ソーラーパネルによる太陽光からの補充充電ができていない場合は、シガープラグコードからの充電を行ってください。 - シガープラグコードで充電できないときは、シガープラグコード内部のヒューズが切れていないか確認してください。切れている場合は、同じ容量(1A)の新しいヒューズと交換してください。
反応(警報)しない	- 電源が入っていません。パイロットランプの点滅または点灯を確認してください。 - 警報機能が正しく働きますか。テスト&ミュートボタンを押して確認してください。 - オートパワーOFF機能が働いていませんか。停車や駐車の状態が約3分以上続くと、自動的に電源が切れます。 - 取締りレーダー波が発射されていたか。計測する瞬間だけ電波を発射するステルス型など、取締り準備中あるいは終了後などで、スピード測定装置から取締りレーダー波が発射されていないことがあります。 - レーダー波を発射しない取締り(光電管式、ステルス型取締り、ループコイル、LHシステム、追尾方式など)の場合、事前に探知することができません。
取締りもしていないのに警報機能が働く	- ロー(バッテリーアラーム)ではありませんか。バッテリーランプが点滅しているときは、シガープラグコードを使って充電してください。 - 取締りレーダー波と同じ電波が他でも使用されています。それらの電波を受信すると警報機能が働くことがあります。故障ではありませんので、ご了承ください。 —取締りレーダー波と同じ電波を使用している主な機器— - 電波式の自動ドア、防犯センサー/信号機の近くに設置されている車輻通過計測機/NTTのマイクロウェーブ通信回線の一部/気象用レーダー、航空レーダーの一部/他のレーダー探知機の一部 - まれに他の無線機の影響を受けることがあります。その場合は取り付け位置を変えてみてください。
警報の途中で警報音が小さくなりランプも暗くなる	レーダー波の受信が約30秒以上続くと、警報音が小さくなり、ランプも暗くなります。
取締り現場なのに350.1MHzを受信しない	- 無線受信機能を「標準モード」または「マルチバンドモード」に設定していませんか。 - 取締り現場での連絡が無線方式で行われていたか。連絡には350.1MHzの電波を使った無線方式の他に、有線方式の場合もあります。
ひんばんに無線警報する	- 放送局や無線中継局などが近くにある場合、強い電波の影響や周囲の状況により、受信状態になることがあります。また、取り付けた車やカーナビの画面、カーオーディオなどから強い電波が放射している場合があります。 - 無線14バンド識別の設定は個別にON/OFF設定できますので、あまりひんばんに警報するバンドはOFF設定にするなどしてください。



仕様

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。

電源電圧	：DC3.6V (専用ニッケル水素電池1.2V×3)	受信周波数	：[レーダー部] Xバンド/Kバンド [UHf部] 340～470MHz帯 [VHF部] 154～160MHz帯
消費電流	：待機時：7mA以下(UHF/VHF部 OFF時) 最大：70mA以下	動作温度範囲	：－20℃～＋85℃ (UHf/VHF部)：－10℃～＋60℃)
受信方式	：[レーダー部] スィープオシレーター式ダブルスーパーヘテロダイン方式	外形寸法	：65(W)×21(H)×103(D)mm (電池部除く)
		重量	：119g(電池含む)

※この説明書に記載されている各種名称・会社名・商品名などは各社の商標または登録商標です。
なお、本文中ではTM、®マークは明記していません。

アフターサービスについて

●保証書(裏表紙参照)

保証書は、必ず「販売店・お買い上げ年月日」をご確認のうえ、保証内容をよくお読みになってからください。

●保証期間

お買い上げの日から1年間です。

●対象部分

機器本体
(電池等の消耗部品は除く)

●修理をご依頼されるとき

「故障かな?と思ったら」で確認しても、なお異常があると思われるときは、使用車名(車種)、機種名(品番)、氏名、住所、電話番号、購入年月日、保証書の有無と故障状況をご連絡ください。

※修理期間中の代替機の貸し出しは行っておりません。あらかじめご了承ください。

○保証期間中のごとき

保証書裏面の「故障内容記入欄」にご記入いただき、お買い上げの販売店まで、保証書とともに、機器本体をご持参ください。保証書の内容に従って修理いたします。

○保証期間が過ぎているとき

まず、お買い上げの販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、ご希望により有料修理いたします。

ユビテルご相談窓口

お問い合わせの際は、使用環境、症状を詳しくご確認のうえ、お問い合わせください。

- 下記窓口の名称、電話番号、受付時間は、都合により変更することがありますので、大切に保管してください。
- 電話をおかけになる際は、番号をお確かめのうえ、おかけ間違いのないようご注意ください。
- 紛失等による同商品の追加購入や別売品の購入につきましては、お買い上げの販売店にご注文ください。

故障相談や取扱方法などに関するお問い合わせ	
受付時間	9：00～17：00 月曜日～金曜日 (祝祭日、年末年始等、当社指定期間を除く)
お客様ご相談センター	☎0120-998-036